

学校教育目標	洋々たる未来を 光り輝いて生きる力の 土台をつくります ＜具体目標＞ 【知】基礎基本をしっかり学び、最後まであきらめず取り組む力をつけます 【徳】他者を思いやる心を持ち、善悪を正しく判断する力をつけます 【体】規則正しい生活をし、自他の生命や体を大切にできる力をつけます 【公】郷土を大切に、社会の役に立つ行動をとることができる力をつけます 【開】コミュニケーション能力を身に付け、国際社会で生きる力をつけます				
	創立 51 周年	学校長 松本忠司	副校長 大竹玲子	3 学期制	一般学級：10 個別支援学級：2
学校概要	児童生徒数： 333 人 主な関係校： 洋光台第二小学校・洋光台第四小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋光台第二中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
＜自ら学びに向かい高めようとする力＞ ＜身に付いた知識・技能を活用する力＞ ＜社会に関心を持ち貢献する力＞	洋光台第二中学校 洋光台第二小学校 洋光台第四小学校	認め合い、学びあい、心身共に健やかで、社会に生きる子ども ・道徳教育や人権教育を通じた自尊感情や自己有用感を高める教育の実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した指導法改善や授業研究の取組 ・9年間の成長を見通した児童生徒指導や特別支援教育の情報交換の実行

中期取組目標	○人権尊重の精神を基盤とする教育を推進し、「誰もが安心して豊かに、楽しく生き生きと生活できる学校」をめざします。 ○「学校職員こそ、子どもにとって最大・最高の教育環境」という自覚のもと、日々の教育活動を実践します。 (1)授業力・学級経営力・生徒指導力の向上を図ります。 (2)データやICTの有効活用とともに、個別最適・協働的な学びを実現する授業改善を進めます。 (3)生徒の自己有用感の向上をめざし、主体的・対話的な教育活動を推進するとともに、視野を広げ持続可能な社会の創り手となる意識を育みます。 (4)生徒の声や意見などをカリキュラム・マネジメントに反映させるよう努めます。 (5)中学校給食の全員喫食に伴い、食育を充実させていきます。 ○「開かれた学校」をめざし、家庭・地域・関係機関との協働を通して、信頼される学校づくりを推進します。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①生徒が主体的に学び、基礎基本が身につき活用できる授業づくり ②信頼できる適切な評価の改善をめざし、生徒の「学習意欲」「生活意欲」向上につなげる。 ③生徒が見通しを立てたり学習を振り返ったりする場面を設定し、それを活用して授業改善につなげる。
担当	学習担当	
徳	豊かな心	①特別な教科「道徳」の授業を中心に、自己を見つめ、自己の存在感を実感できる生徒を育成する。 ②3年間を見通した人権講演会を計画し、継続してかけがえのない生命について考える風土を醸成する。 ③生徒の意見を反映して学級活動や学校行事等を展開し、互いに認めあう人間関係作りを支援する。
担当	道徳担当・人権担当	
体	健やかな体	①新体力テストを基に、生徒一人ひとりの目標を定め、ICT等を活用しながら自己の課題を認識し実践する。②日常的な運動を通して心身の健康の保持増進を図り、生涯にわたって主体的に運動に親しむ態度を育成する。③「食」に関する正しい知識を身に付け、健康と豊かな人間性を育む。
担当	保健体育	
公 開	グローバル人材・ SDGs達成の 担い手育成(ESD)	①各行事や授業等の教育活動の中でSDGs17との繋がりを示し、生徒たちが興味をもつ身近な課題や社会課題をいかし、人のために積極的に動ける力を育成する。②国際子ども平和スピーチコンテストや校内英語スピーチコンテスト、SEPRO等を通して、生徒たちが多様な文化に興味をもち、グローバルな視野をもてるようにする。
担当	教育課程委員会	
生徒指導・ いじめへの対応		①子ども会議などにおいて生徒が話し合う機会を設定し、生徒自らが考える未然防止への取組を強化する。②月1回以上定期的にいじめ防止委員会を実施し、認知された案件の経過観察を丁寧にを行うことで再発防止に努める。③いじめ防止研修の実施による共通認識のもと、健康観察(スタナビの活用)や年2回のアンケートなどにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。④生命(いのち)の安全教育の推進をする
担当	生徒指導	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①主体的・自律的な研修を保証するとともに、校内研修を計画的に実施して職員の資質・能力向上を図る。②定年延長や経験の浅い職員の増加などを鑑み、新たな視点に基づく人材育成を進める。③ 部活動ガイドライン順守・業務精選・ICT活用などを推進して業務負担の軽減を図る。
担当	管理職・衛生委員会	
キャリア教育		①職業調べ、職業講話、職場体験、進路学習など発達段階に応じた学習を進める。ICTを活用した、職業調べや進路実現につながる情報集めの方法を理解させる。②図書室内に「キャリア学習コーナー」を設け、情報提供を行う。③自己の興味や関心、特性を理解させ、進学や将来の職業観などキャリアアップへの展望をもたせる。
担当	進路担当	
特別支援教育		①特別支援シートを活用し、個々に応じた支援の方法を探る。関係諸機関との連携を円滑にする。②ハートフルルームを中心に、生徒が安心できる「場」の設定を維持する。③不登校生徒の登校支援に限らず発達障害や学習障害への対応も進める。④生育過程や家庭環境など、さまざまな背景を抱える生徒への理解を深める。
担当	特別支援担当	
教育環境整備		①安全・安心な教育環境の維持を目的に定期的な施設点検に努める。②校内の掲示物や美化活動を委員会生徒と連携しながら積極的に活動していく。③教職員との情報共有を年間を通して主体的に行っていく。
担当	保健・安全	
学校地域連携事業		①放課後学習支援室の円滑な運営と生徒の学びの場・居場所づくりの両立を図る。②区役所や学校地域コーディネーターとの関係をさらに深め、ICTの活用や支援体制を整えてボランティア活動や地域活性化の取組の充実を図る。③学校運営協議会の効果的な運営を心掛け、地域との信頼関係の一層の構築を図る。
担当	管理職・地域連携チーム	